

統計数学IA演習 第1回

担当：三角 淳 2014年4月16日

例題

[1] 集合 $\Omega = \{1, 2, 3, 4, 5, 6\}$ とその部分集合 $A = \{4, 5, 6\}$, $B = \{3, 6\}$ に対して、次の集合を具体的に書け。

(1) $A \cap B$, (2) $A \cup B$, (3) $B \setminus A$, (4) $A^c = \Omega \setminus A$.

[2] 集合 $A = \{1, 2\}$, $B = \{3, 4, 5\}$, $C = \{1, 2, 4, 6\}$ に対して次は成り立つか。理由を付けて答えよ。

(1) $A \cap B = \emptyset$, (2) $A \subset C$.

レポート問題 以下の [3],[4] の解答を、次回の授業のはじめに提出して下さい。(授業に関する要望・質問等があれば、レポートの余白に記入して下さい。)

[3] 集合 $A = \{1, 3, 5, 7\}$, $B = \{2, 3, 7, 9\}$ に対して、次の集合を具体的に書け。

(1) $A \cap B$, (2) $A \cup B$, (3) $A \Delta B = (A \cup B) \setminus (A \cap B)$.

[4] 集合 A, B, C が $A \subset B$ かつ $B \subset C$ をみたすならば、 $A \subset C$ となる事を示せ。

補充問題

[5] \mathbb{R} 上の開区間 $A = (0, 7)$ 、閉区間 $B = [3, 9]$ に対して、次の集合を具体的に書け。

(1) $A \cap B$, (2) $A \cup B$, (3) $A^c = \mathbb{R} \setminus A$.

[6] 集合 Ω とその部分集合 A, B, C に対して次を示せ。

$$(A \cup B \cup C)^c = A^c \cap B^c \cap C^c.$$

(裏面に、授業方針等の説明があります)

授業内容：統計数学 IA の講義に関連した演習

教科書：吉田伸生「確率の基礎から統計へ」遊星社（統計数学 IA の講義と共通）

成績評価：

- ・毎週のレポート（100 %）で評価します。
- ・2/3 以上の出席が必要。（特例欠席を除いて）6 回以上の欠席は不可ですので、注意して下さい。

オフィスアワー：火曜 12:00～13:00、619 号室

ホームページ：<http://www.math.kochi-u.ac.jp/misumi/>

レポートの扱いについて：

- ・レポートは 1 回 5 点満点です。
- ・レポートは、原則として次の回の授業のはじめに回収します。少し遅れて提出されたものは、最終的な成績が 60 点に満たない場合に限ってプラスアルファの材料とします。（大幅に遅れたものは無効になります。）
- ・この授業では、授業時間内に提出されたレポートで出席確認を兼ねます。（初回のみ出席確認用の用紙を回します。）
- ・授業に出られない回で、可能な場合は事前に 619 号室の入口の袋にレポートを提出してもらえれば採点します。
- ・授業に出られなかった回に出題された問題は、上記のホームページの、「授業関係」の 2014 年度のページから参照できます。（略解については授業時間内に受け取るか、または研究室に受け取りに来て下さい。）
- ・特別な事情がある場合は、状況に応じて配慮しますので申し出て下さい。